

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称： あーす保育園南林間	種別： 認可保育所
代表者氏名： 田中 容子	定員（利用人数）： 80（79）名
所在地： 〒242-0001 大和市下鶴間1783-300	
TEL： 046-240-0833	ホームページ： https://earth.apical.jp/minamirinkan.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2021年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）： 株式会社アピカル	
職員数	常勤職員：12名 非常勤職員：14名
専門職員	保育士：園長 1名 保育士：主任、副主任 2名 保育士 19名 栄養士（内管理栄養士） 2（1）名 調理員 1名 事務員 1名
施設・設備 の概要	乳児室（0～2歳児室） 3室 幼児室（3～5歳児室） 3室 沐浴室 1室 調理室 1室 トイレ 5室 職員室 1室 職員休憩室（更衣室） 1室 地域子育て支援室 1室 建物の構造：木造2階建て 建物延床面積：486.30㎡ 園庭 233.98㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念「生き抜く力」～一人一人を温かく受け止め、個性を認める保育を大切に
し、人生を「生き抜く力」を育みます～

【保育方針】

- 1.一人一人に寄り添い、丁寧で肯定的な保育を行います
- 2.常に子どもの安全を第一に考え、主体的な園生活が出来るような環境を整備します
- 3.子ども中心のチームワークを大切にし、子どもの成長を保護者と分かち合います

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

あーす保育園南林間は、福岡県に本社を置く株式会社アピカルを運営母体とし、2021年4月に開園しています。現在、0歳児から5歳児まで、定員は80名で79名が在籍しています。園は小田急江ノ島線南林間駅から徒歩5、6分の住宅地の中にあります。園周辺は住宅の他、遊歩道、市民農園、畑があります。戸外活動は園庭のほ

か、自然を感じたり、活動の目的に合わせてりと公園を選べる環境があり、保育活動に生かすようにしています。

【園の特徴】

『「生き抜く力」～一人一人を温かく受け止め、個性を認める保育を大切に、人生を「生き抜く力」を育みます』を理念に掲げています。子ども一人ひとりの成長を大切に、各年齢に合わせて活動を広げていくことを職員で共有し合い、保育を進めています。

また、「言葉の力を子どもたちの生きる力に」を目標にし、年齢に合わせた教材を使い、お話、諺、俳句、詩、漢詩等の言葉を目で読み、声に出し、耳で聴くことを大切にしたカリキュラムがあります。園長を中心に研修で学んだ職員が講師となり、2歳児クラスから、毎日10～15分ほど活動に取り入れています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 5月10日（契約日） ～ 2023年12月 1日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	一 回（ 年度）

⑥ 総評

◇特長

1. 保護者との関係性を深める努力

コロナ禍の令和3年4月に開園してまだ3年目であり、園長が昨年交代になったこともあり、園の土台作りに力を入れています。保護者との関係性についても園への理解を深めてもらうよう、努めています。そのために職員向けに保護者対応の園内研修を行なっています。入園前の保護者との個別面談後も必要がある場合は入園説明会後にも面談を行ない、丁寧な聞き取りをしています。

保護者の意見や意向を反映した事例として、今年度から3～5歳児クラスの個人面談を開始しました。登降園時の自転車やバギーが使いやすいよう園敷地入り口の段差解消も速やかに行なっています。保育参観については今年度中に行なう予定です。

2. 「食」の工夫を楽しむ子どもたち

年齢に応じた食育活動を工夫しています。2、3歳児クラスで2人で1本のトウモロコシの皮を力を合わせてむき、給食で食べる経験をしました。4、5歳児クラスでは園で栽培した夏野菜の浮き沈み実験を行なっています。食育活動の様子は連絡アプリケーションや給食だよりを通じて保護者に伝えています。

日々の献立も工夫を凝らし、七夕（星を散らしたうどん）・ハロウィン（かぼちゃのクッキー）・クリスマス（型抜きご飯）等の行事には季節を感じる特別メニューを味わっています。5歳児クラスは卒園前にクラスで意見を出し合い、リクエストメニュー（昨年度は子どもたちに大人気のてりじゃがとラーメン）を楽しんでいます。

◇今後期待される点

1. 保育所の自己評価の作成と公表

職員同士の学び合いや専門性の向上につなげていくために、職員間での話し合いの時間をこれまで以上に持ちながら、保育所全体の保育実践の自己評価を作成することが期待されます。作成にあたっては保護者アンケート結果等も反映し、作成後の公表が期待されます。

2. 子どもの主体性を育む保育室環境整備の検討

園では、子どもの動線や安全に配慮して保育室内の空間の確保を優先するようにしています。おもちゃや玩具は子どもが何をしたいか様子を見たり、子どもの発言から職員がその都度提供していますが、子どもが自主的におもちゃを選んだり、選んだおもちゃで遊びこんだりするコーナー等、子どもの主体性を育む保育室環境整備について、今後も検討を続けることが望まれます。

3. 子どものプライバシーへのさらなる配慮

「おむつ替えはトイレの中で行なうか、部屋の中ではついたてを使用する」「水遊び後の着替えが外から見えないようにカーテン等を使用する」など、子どものプライバシーを守ることに関する規程やマニュアルの作成をすることで、子どものプライバシー配慮への意識がさらに向上していくことが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審して

2021年に開園して以来、日々の保育を安全におこなうことを第一に職員一同、保育に取り組んできました。

開園3年目を迎え、これまでの保育を振り返り、今後の課題を明確にし、取り組んでいくために今回第三者評価を受審いたしました。

受審にあたり、大変な部分もありましたが漠然と見えていた課題と今回の結果が一致した部分も多く、課題を明確にすることはできたと感じています。

保育内容だけでなく運営についても共有し、課題については改善できるように、成果としてあげられる点については今後さらに伸ばしていくことができるように、園として継続して取り組んでいきたいと思っております。

評価調査員の方々にはたくさんの具体的なご指摘をしていただき、参考になることも多くありました。ありがとうございました。

また、保護者の皆さまにもお忙しい中保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

これからも子どもたち、保護者の皆さま、職員の笑顔があふれる保育園を目指し、また子どもたちの「生き抜く力」を育てていくために努力していきます。

ありがとうございました。

あーす保育園南林間 園長 田中容子

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり